

2016年4月14日
株式会社日立製作所

デジタルソリューション事業の拡大に向けたIoTプラットフォームの開発・構築を強化

株式会社日立製作所(執行役社長兼 CEO:東原 敏昭/以下、日立)は、デジタルソリューション事業の拡大に向け、IoT プラットフォームの開発・構築を強化します。新たに米国に設置するサービス&プラットフォームビジネスユニット(以下、プラットフォーム BU)のグローバルヘッドクォーターを中心に、2016~2018年度の3年間累計で約1,000億円を投資し、日立の強みであるOperational Technology(OT)*とInformation Technology(IT)を結集したIoTプラットフォームによりお客様の課題解決や成長の実現に貢献します。

昨今、環境問題や都市化、高齢化などの社会課題が顕在化しています。世界経済の不透明感も増す中、企業や経営者が抱える課題や関心もより複雑化、複合化し、スピーディーで持続的な解決策が求められています。また、インターネットの活用によりあらゆるモノや人をつなぐと同時に、ビッグデータの分析・解析を通じて得られる知見によりビジネスや人々の暮らしそのものを大きく変えようとする「IoT(Internet of Things)」や「デジタルイノベーション」といった潮流が加速しています。

このような中、日立は、OTとITの活用により高度なインフラシステムを提供する社会イノベーション事業を推進し、世界の潮流をリードしてきました。こうした強みを生かし、成長を支えるデジタルソリューション事業の強化に向け、お客様のそばでサービスを提供する12のフロントBU、プラットフォームBU、競争力の高いコンポーネントでサービスを支えるインダストリアルプロダクツBUの3階層からなるマーケットドリブン型の事業体制を始動しました。プラットフォームBUは、IoTプラットフォームをフロントBUに提供することにより、フロントでのイノベーション創出を強力に後押しします。

プラットフォームBUが開発、構築を進めるIoTプラットフォームは、アナリティクス、AI、セキュリティなどのITと、鉄道運行管理、プラント制御などで培われたOTの融合により生み出されるデジタルソリューションのコアとなるソフトウェア群です。日立の強みと知見、パートナーやお客様の知見を融合することで、多種多様な課題を抱えるお客様が、最小限のカスタマイズでスピーディーかつフレキシブルにソリューションを組成するオープンプラットフォームです。

今回、新たに、米国サンタクララにプラットフォームBUのグローバルヘッドクォーターを設置し、執行役専務/サービス&プラットフォームBU CEOの小島啓二が、北米、欧州、日本などの拠点で構成されるグローバルチームをリードします。

なお、日立のIoT事業戦略に関して、米国西海岸時間5月10日に、サンタクララにて開催される展示会「IoT World」において、日立の執行役専務/米州総代表のジャック・ドメが基調講演を行う予定です。「IoT World」のURL:<https://iotworldevent.com/speaker/jack-domme/>

* Operational Technology: 情報技術(IT)に対して、産業機器やプラント、社会インフラ設備等の運用を制御する技術を示す。

■照会先

株式会社日立製作所 サービス&プラットフォームビジネスユニット 戦略企画本部 [担当:大橋]
〒140-8572 東京都品川区南大井六丁目 27 番 18 号(日立大森第二別館)
電話:050-3131-7079(直通)

以 上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
